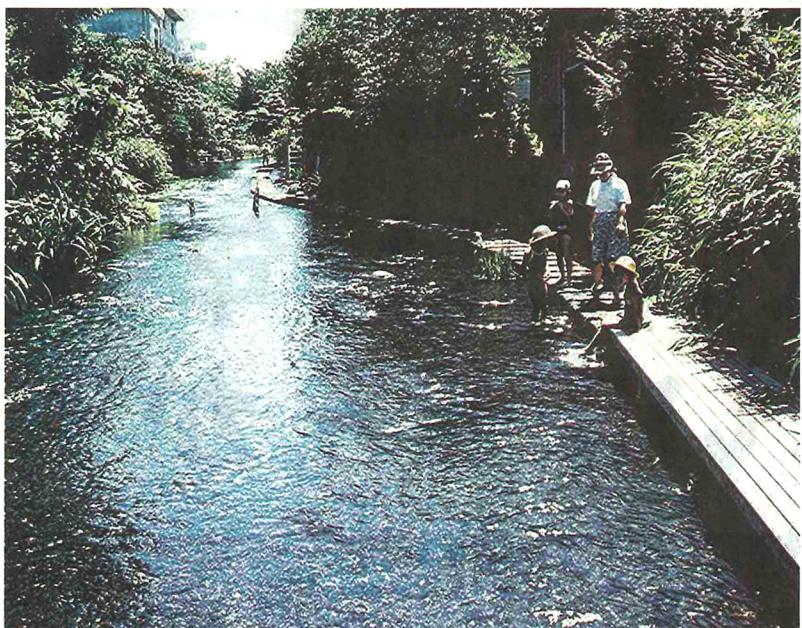


2021年(令和3年)1月17日(日曜日)

水の都 三島が復活

「アジア都市景観賞」受賞



上 清流を取り戻した源兵衛川
下 整備前、汚れていたころの源兵衛川
=三島市で (いずれもNPO法人グラウンドワーク三島提供)



富士山が水源の湧水が市内各地で湧いた同市は「水の都」だった。だが一九六〇年代以降、工場の水のくみ上げなどで湧水が減少、公害で川が汚れ、ごみも散乱。水の都とは呼べなくな

つてしまつた。
NPOのGW三島応募 源兵衛川再生が評価

NPOのGW三島応募 源兵衛川再生が評価

アジアの景観を誇らしいものに導くため、模範となる優れた成果をあげた都市や事業を表彰する「アジア都市景観賞」に昨年、三島市の「水と緑の湧水網都市」創造事業が選ばれた。市民と行政が一体となった「水の都」再生が評価された。事業の仕組み作りを担つた、同市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が応募した。NPO、県内自治体の受賞は初めて。

(渡辺陽太郎)

九二年に発足したGWは、百回以上の市民向け説明会で再生への思いを訴え、市民とNPO、行政、企業が連携して再生に取り組む仕組み作りに尽力し

た。 GWの渡辺農博専務理事は「やつてきただと自信になつた。事業はまだ途上。今後は三島外縁部の湧水地の整備も進めたい」と話した。 賞はアジアの人々の幸せな生活環境の構築を目標に

二〇一〇年、国連ハビタット福岡本部(福岡市)など四団体が創設した。昨年は六カ国の二十四団体が応募。十三団体が受賞した。 国内では、長崎市や大分市

のまちづくりが選ばれた。